

普及活動情勢報告（令和7年3月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

トマトの栽培技術を学ぶ！ ～ミニトマト部会視察～



トマトの視察中

2月13日に、れいほく園芸部ミニトマト部会部会員5名が高知県立農業担い手センター及び四万十あおぞらファーム株式会社への視察研修しました。

農業担い手センターではミニトマトの栽培状況、四万十あおぞらファーム株式会社では育苗の状況を見学しました。普及所は事前に視察先との調整を行いました。

部会員からは「夏秋と促成の違いはあるが、草勢維持の方法など、参考になる技術があった」などの声がありました。

普及所は、今後もJAと連携して現地視察などの取組を通じてミニトマトの栽培技術向上を支援していきます。

次年度の農業振興について話し合いました

～令和6年度第2回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



協議会の様子

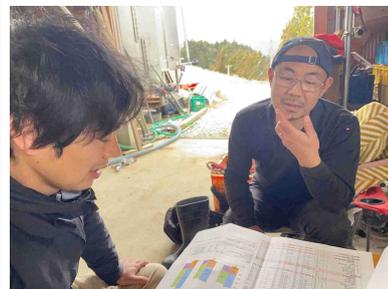
3月12日に、嶺北農業改良普及所会議室で、令和6年度第2回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員と関係機関10人が参加しました。

普及所は令和6年度の普及指導活動実績及び令和7年度普及指導計画書（素案）について説明しました。

その後の意見交換では、委員からは「ヒノヒカリに替わる高温耐性品種が欲しい」や「情報発信の強化をお願いしたい」といった意見の他、7年度計画の進め方や評価指標の設定等について多数の意見が出されました。

普及所は、協議会でのご意見をふまえ、地域の農業振興に取り組んでいきます。

担い手の経営安定に向けて ～経営改善支援農家面談～



面談の様子

普及所では管内の新規就農者等7戸を経営改善支援対象者とし、生産技術の向上など経営安定に向けた支援を行っています。令和6年のふりかえりと改善点を整理し、さらなる所得向上を図るため、対象農家と面談を実施しました。

普及所は、対象農家の過去3カ年の月別収量や販売金額等ととりまとめた資料をもとに、令和6年の営農状況のヒアリングを行いました。

対象農家からは「夏期の高温による品質低下が大きかった」や「獣害によって減収した」等農家個別の課題が洗い出され、取り組むべき改善点が明らかになりました。

普及所は、引き続き関係機関と連携しながら、対象農家の所得向上に向けた課題解決を支援していきます。